



蓬原の子

「折り合いのつけ方」

校長 徳田 賢一

例年より早い梅雨入りでしたが、まだまだ吹き抜ける風に爽やかさを感じます。蓬原台地の圃場でも田植えが進み、季節が進んでいくのを感じます。先日のプール掃除で本年度も水泳学習の準備が整いました。けがや事故には十分注意しながら、子供たちの泳力向上を目指して水泳学習を行います。

さて、1学期も折り返し地点となり、新しい環境にすっかり慣れた頃ですが、子供たちは、日々の生活の中で思いどおりにならない事態に直面します。勉強のこと、遊びのこと、友達関係など、むしろ思いどおりにならないことの方が多いのかもしれませんが。これは大人になっても悩みはつきないものですね。むしろ悪化しているかも。

そういうときに、どのように折り合いをつけていくのか、折り合いのつけ方を学ぶことが生きていく上でとても大切なスキルだと感じます。このスキルを身に付けていくためには、様々な体験をすること、そして、その中で失敗に学ぶことが大切だと考えます。

遊びの中での譲り合いやあきらめずに努力して、今までできなかったことができるようになること等、それぞれの体験を通して、子供たちは、頑張る力や我慢する心、そして他人に感謝する心などを身に付けていきます。

思いどおりにならないことを乗り越えながら、子供たちは、次第に成長していきます。そう考えると年相応に思いどおりにならない壁にぶつかることも、子供の成長には欠かせないものかもしれません。

新しい学年がスタートして2か月が経ち、様々なことに慣れてきたころです。子供たちの小さな変化に注意し、見守っていきましょう。年度当初の張り切っていた気持ちが何かの拍子でつまづいて気持ちが沈んでしまったり、慣れてきたために自分勝手なルールや思い込みで行動してみたりすることがあります。また、心ない言葉で相手を傷つけてしまうこともあるでしょう。子供を信じることは大切ですが、もし子供が間違っていたら正してあげることも大人の責任です。子供のことを一番近くで見ている大人が、良いところを認めつつ、時期をとらえ、必要なアドバイスをしていくことが子供の成長には大切だと感じています。



【6年生 修学旅行の様子】

6年 修学旅行

5月13・14日に1泊2日の日程で、6年生23名が修学旅行に行きました。両日とも天候に恵まれ、6年生は予定されていた行程を存分に楽しむことができました。

【1日目】熊本城見学（昼食）

熊本市内自主研修

湧々座見学

城彩苑

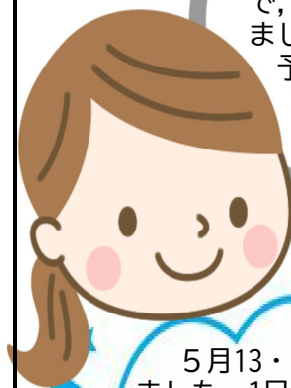
（宿泊先）ホテルヴェルデ

【2日目】グリーンランド



【児童の感想文】

私は修学旅行でいろいろなことを学びました。まず、「しおり」です。友達が昼休みや休み時間を削って作っていたのを見てすごいと思いました。自主研修では、バスに乗り遅れてアミュープラザに行けなかったけれど、臨機応変な対応で、通りに行き、加藤神社に行けました。私は、バスに乗り遅れて予定通りにいかないのも、修学旅行なんだなあと思いました。とても楽しかったです。



5月13・14日に修学旅行に行きました。1日目は8時過ぎに学校を出発し、城彩苑・湧々座・熊本城などに行き、自主研修などがありました。自主研修ではトラブルがあったのですが、楽しかったです。ホテルでは、夜ご飯（バイキング）がたくさんあっておいしかったです。友達と今よりも友情を深めることができました。2日目のグリーンランドもたくさんのアトラクションを友達と回ることができて楽しかったです。たくさんの思い出作りができました。バスの中も楽しかったです。

